

公民館報

こすぎ

No. 49

令和4年12月

発行責任者

公民館長 西田 守 寛

編集責任者

文化部長 田上 隆 幸

入学おめでとう



ぴかぴかの1年生

一年を振り返って

小杉町町会長 北村 司

新年を迎えるにあたり、昨年一年を振り返ってみたいと思います。二月に北京において平和の祭典、冬季オリンピックが華やかに開催されました。テレビにくぎ付けになって日本を応援しましたが、その余韻がさめないうちにロシアがウクライナに軍事侵攻し、ミサイルが街中で炸裂する光景が、連日テレビで戦争映画みたいに映し出されました。これから世界はどうなっていくのでしょうか。

今年も日本各地で自然災害が発生しました。八月四日には加賀地域で記録にない大雨が降りました。梯川や鍋谷川流域でも堤防が決壊してしまい、中海町や寺畠町などでは家屋の床上・床下が浸水し、水が引いた後も被災者は泥出しや家内の乾かしなどに大変苦労しているとお聞きしています。

小杉町は幸いにも被害が小さかったことに安堵しました。ただ、神社から消防小屋を結ぶ所から南東方向(主に一、二班)は、

夕方になって田んぼから水が溢れだし、道路が深いところで三十七センチくらい冠水しました。寺井地域でも小杉は低地にあり、市のハザードマップでは0.5〜2メートルは浸水すると想定されています。常日頃から防災について対策を考えていかなければならないと思っています。

また、相変わらず新型コロナウイルスが下火にならず、六波・七波とピークがあり、たくさんの方が感染してしまい、マスクを外すことができない状態が続いています。今年の流行語に「顔バンッ」が候補になっているそうです。これだけマスクをしていると、素顔を見られることが恥ずかしい気持ちになるということだそうです。(笑) 令和五年はコロナウイルスに負けず、共生しながら、普通の生活に戻ってくることを切に期待したいものです。



みんなでつくる公民館活動

公民館長 西田 守寛

定年を迎えて三年目、いつの間にか公民館長を引き受ける年代となりました。コロナ禍が続く、やはり行事をどうするかで大いに悩みましたが、世の中の状況を見ながら、できる範囲でやることをやってこれたかなという思いです。

振り返るといろいろ思い出されますが、寺井地区一周駅伝の六位入賞もその一つです。チームの中に小西さん親子がいましたが、自分がちよと湯の谷の中継地点にいた時、三区の父が四区の息子に「あとは任せ」とタスキを渡し、息子が「あとは任せて」と走り去った光景がとても微笑ましく印象に残りました。そしてゴール付近で待っていたところ、弟からタスキを繋いだ兄の橋本君が走ってくる姿が少し先に見えた時、小杉がこんなに早いとは思ってなかった。喜びもひとしおでした。

また「わいわい祭り」を曲がりなりに開催することができてとても良かったと思います。中澤さんの素朴な三線の演奏と歌、双美会

の田上さん、北村さんの艶やかな新舞踊、二組とも格好良かったです。小杉には芸能に秀でた方がたくさんいて、来年はどんな方が披露してくださるか楽しみです。

公民館活動は地域の交流を図ることを目的にみんなでつくるものであり、もちろん自分一人では何もできません。何をすることもまず相談する人がいて、それを実現するのに快く協力してくれる人がいて、そして何より小杉の皆さんが参加してくれてはじめて成り立つことばかりです。有り難いことに困っていると手を貸してくれたり、時には自分の知らない間に黙って助けてくれた人もいました。そういう意味では皆さんに支えられての感謝の一年でした。今後とも公民館活動に皆さまのご理解と温かいご支援をよろしく願います。

あけぼの会

あけぼの会会長 杉森 一巳

日ごとに寒さが厳しくなりませんが、会員の皆様方におかれましては、健康に毎日を過ごされていくことと思います。

今年度の行事におきましては、参加人数が限定されながらも和田山清掃奉仕作業に始まり、市老連及び支部のグランドゴルフ大会、長寿祝い、インクルーシブ・プレイグランド周辺の歩こう会、あけぼの会の今後について考える研修会などを進めてまいりました。しかし今年にはコロナウイルス感染症が二三年間で一番の猛威をふるった年でもあり、春夏のお参り、研修遊行を企画しましたが、会員の方々の健康と安全を考慮し、事業を中止せざるを得なくなりました。誠に残念な結果となり、役員一同、会員の方々には申し訳ない気持ちでいっぱいです。

この後、友愛訪問活動、報恩講、初総会と事業が展開します。報恩講では、お盆のお参りが中止となり、物故会員の法要ができなかったので行うこととなります。また、初総会では一部の会員の方に朗報をお伝えできるかと思いい、あと残り少ない事業ですが、多くの参加を期待し、みなさんと楽しく過ごしたいと思えます。会長として皆様方より数多くのご指導、ご鞭撻をいただき、小生ありがとうございました。感謝している次第です。

☆「老人会されど老人会」

役員一同

小杉壮年団

壮年団長 北村 寛人

令和四年は新型コロナウイルス感染症がまだまだ油断できない状況が続く中、様々なイベントが小規模ながらも開催されつつありました。

壮年団活動でも和田山清掃やスポーツフェスティバル、駅伝の補助などがあり、徐々にコロナ禍前の日常が戻りつつあります。スポーツフェスティバルは半日の開催ではありましたが、たくさんの方々が集まり、自粛期間のストレス発散になったのではないのでしょうか。

壮年団活動では同級生など非常に懐かしい顔ぶれが揃い、貴重な経験をさせて頂きました。まだまだコロナウイルス終息とまではいきませんが、一日でも早く安心して暮らせる日が来ることを願っております。団員の皆様、一年間ありがとうございました。

小杉女性会

女性会会長 杉森 奈緒

今年の一月から会長を引き継ぎコロナ禍の中、ここ最近行事もなかったこともあり女性会の活動で何をすれば良いものか不安だらけでスタートしました。

今年も町内の運動会はできませんでしたが、スポーツフェスティバル、寺井町北花壇の清掃、わいわい祭りは役員の方にも協力してもらい参加し、寺井校下女性会の活動では貸衣装展示会、防災研修会などにも参加しました。

人数制限や規模を縮小しての開催も多く、コロナ禍前のようにはできませんでしたが少しずつ新しい生活様式での活動できるとなりました。

ですが、まだまだ活動は制限されている為女性会の交流の場は少なかつた一年であったと思えます。

来年以降は、徐々に活動できる場が増え、交流の機会が増えることを祈るばかりです。そして小杉町の女性会の今後

の存続の為に一人でも多くの方の加入をお待ちしております。一年間、活動にご協力いただき、会員の方町内の方々ありがとうございました。

自衛消防団活動を振り返って

消防団長 杉森 洋海

小杉町自衛消防団の団長をさせて頂き、早くも一年が経とうとしています。小杉町の皆様方には、日頃から自衛消防団の活動にご理解とご協力をいただきまして感謝しています。

本年度の消防団の活動も、コロナの影響で、従来の活動ができませんでした。毎年行われていた合同訓練大会は中止となり、技能演習という形で行われることとなりました。けれども、消防団員とも話し合い、コロナ感染予防のため小杉町は出場を辞退することにしました。また、小杉町の運動会なども中止となり、小杉町のために消防団が集まり何かを手伝うことができず、さみしく思いました。

一刻も早く、コロナが収束し、「当たり前」のことが当たり前に戻ることができる世の中に戻ってほしいです。

最後になりますが、小杉町自衛消防団の一番の課題は団員の確保です。新規に入団してくれる方が少なく、団員の年齢も高くなつてきています。いろいろな活動をするにも人手は必要になってきますし、消防団として色々な活動を行っていくことで小杉町の人たちともより深くなれると思います。若い方のたくさんの方の入団をお待ちしています。

寺井小学校PTA

小学校PTA地区委員長 浜辺 洋一郎

今年度の小杉町小学校PTA行事を振り返ると、三年ぶりに夏の親子レクレーションを実施することができました。恒例の合宿はコロナ禍ということで残念ながら断念しましたが、代わりに公民館でペットボトルランタンの製作、その後さくら公園にて花火を楽しみました。親子でペットボトルにカラーセロファンでデコレーションしたら

ンタンは、それぞれの個性が輝き、とてもきれいでした。花火の時には、子どもたちの賑やかな笑い声も聞こえ、ささやかながらも親子レクレーションを実施することができて良かったと温かい気持ちになりました。

コロナ禍で子ども同士、保護者同士の交流を図ることが難しい時期が長くありましたが、こうして実際に顔を合わせ、地域で交流することはとても大事なことで改めて感じました。今年度は様々なイベントなども開催されるが増えてきて、少しずつ前進していると感じられ、今後はさらに子どもたちの笑顔がたくさん見られる社会になることを願っています。



最後になりますが、いつも子どもたちを温かく見守って下さる町内の皆様、またPTA活動にご協力いただいている保護者の皆様には大変感謝しております。ありがとうございます。

「感謝」

中学校PTA地区委員長 杉森 亮介

今年度も新型コロナウイルス感染症防止の観点から様々な制約の中ですが、子供たちなりに学

校生活を楽しくしているのではないのでしょうか。今年も体育祭や合唱コンクール、朗読劇などがあり、楽しみにして学校へ向かう子供たちをみるのができました。そして、今年は修学旅行が行われ、三年生にとっては一生の思い出づくりとなったと思います。

今もまだ学年・クラス閉鎖があり、やむえない状況が続くなか、クロムブックでのオンライン授業などを行って頂いております。安全な学校再開へ向けて、様々な対策・工夫・努力をしてくださった先生方に心から感謝いたします。新型コロナウイルスによる活動制限もありますが、PTAとして子供たちが成長できるようサポートしていきたいと感じております。

保護者の皆様にはこのような情勢のなか、PTA活動にご理解いただきありがとうございます。今後、学校・家庭・地域のつながりを大切にして、子供たちが安心・安全に学校生活を送れるよう尽力していきたいです。

来年度も子供たちが楽しい学校生活をおくれるよう願っております。

2022年 行事報告

1月 左義長



2月 ラジオ体操



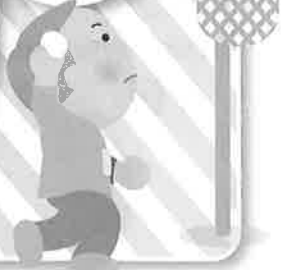
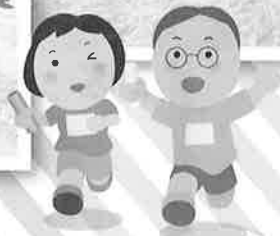
8月 記録的大雨



9月 あいさつ運動



10月 スポーツフェスティバル



11月 ソフトバレー



11月 寺井地区一周駅伝大会



寺井地区一周駅伝6位入賞

10月16日(日)午前には寺井地区一周駅伝、午後には寺井地区ソフトバレー大会が行われました。ソフトバレーは頑張ったのですが残念ながら予選敗退でした。駅伝は6位入賞で、古い資料が手元がありませんが、近年にない好成績で、過去最高順位の可能性が高い見事な結果でした。また、3区・4区では親子のタスキリレー、5区・6区では兄弟のタスキリレーが見られ話題性のあるチーム編成でした。駅伝、ソフトバレーに参加していただいた選手の皆様、本当にありがとうございました。ここでは入賞した駅伝メンバーの感想を紹介します。



1区



北村 達也
花の1区を走って

寺井地区一周駅伝、小杉町選手団として今年は「花の1区」を走ることができ、小杉町の皆さんの応援を間近に受けていつも以上に力を出すことができました。ありがとうございました。

2区



杉本 和久
感謝

久しぶりの開催となった寺井地区一周駅伝は天候にも恵まれて、何よりも各地区の皆さんが沿道に出て声援をくれたことが力になったし、選手6人実力以上の走りができたと思います。結果はおそらく過去最高の6位入賞でした。選手はもちろん、練習や当日の送迎で支えてくれた運営委員の方々、声援をいただいた町内の皆さんに感謝です。

3区



小西 邦生
駅伝に参加して

腰痛解消のためウォーキングを始めたのが4年前です。歩くだけでは物足りなくなりジョギングを始めました。今回駅伝に参加させていただき息子にタスキを渡すことができ、続けてきてよかったと思いました。貴重な機会をいただきありがとうございます。

4区



小西 健彦

駅伝に参加して思ったこと

僕はこの駅伝に参加することになった時すごく不安でした。本番になった時緊張して思うように走れなかったのですがベストメンバーだったのでうれしかったです。今回の記録より良いものを出せるように練習して来年も出たいと思いました。

5区



橋本 遥

初めての駅伝

今年初めて走ってみて、すごく気持ちよく走れてよかったと思ったし、入賞できてよかったと思う。そして、小杉町が初めて入賞できたことに立ち会うことができよかったと思う。来年もぜひ走りたいと思う。

6区



橋本 滯

今年の駅伝

今年は自分としては4回目の駅伝だった。現役を退いてからの走りだったため体力不足が目立ったが、小杉町として入賞することができ、小杉町の歴史が変わる瞬間に立ち会うことができよかったと思う。

寺井地区一周駅伝走大



こんには赤ちゃん

小杉町のみなさん3班の田中家次女の心彩(みあ)といっています♡
心優しく彩りある日々を過ごしてほしいという願いをこめて命名しました。

心彩はお腹にいるときもマイペースでゆったりしていて、有難いことにつわりもなくマタニティ生活はすごく楽に過ごさせてもらえました！

予定日は6月14日でしたが5日遅れの出産でマイペースにゆっくり出てきました。

今回はコロナでパパや実母の立ち会いができませんごく心細かったですが、心強い助産師さんに付き添ってもらい無事出産となりました。

出産前の健診時エコーで推測3500g近くあり、すごく大きな子が産まれてくるのかな?と思つて気合を入れていましたが2942gと予定よりも小ぶりで産まれてきました。

産声を聞いた瞬間、本当に幸せを感じました♡パパとママとえまの所にきてくれてありがとう♡

お姉ちゃんの時と一緒に、元気にぶくぶく育つてくれていきます(笑)

大きくなつてくるにつれパパそっくりのお顔です(笑)
豪快な子で泣き声やブーツ!とする音も大きかったです(笑)
可愛い心彩にパパママお姉ちゃんも毎日メロメロです♡

これからお姉ちゃんと一緒に元気に明るく成長してくれたらいいなと思います。

町内に同級生になる子もいるので嬉しいです♡
すっぴんも可愛くしてくださいね♡

ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、これからどうぞよろしくお願い致します。



田中心彩(みあ)

田中 聖也 成美さんの次女

小杉の皆さん、こんには。令和4年6月13日、森田家待望の第二子、凪来(なぎ)が産まれました。体重2640グラムで産まれ、今でも小柄ですが、よく飲んで、よく泣いて、とっても甘えん坊の元気いっぱいな男の子です。

3歳のお兄ちゃんがママそっくりなのに、対し、凪来はパパそっくりです。あやすよく笑ったり、歌を歌うと一緒に歌うように声を出したり、毎日少しずつ成長していても可愛いです。最初は、急に始まった赤ちゃんとの生活にお兄ちゃんも戸惑っていました。おもちやを見せあげたり、兄弟の関わりが増えてきて嬉しいです。

コロナ禍で行事などもあまりなく、みなさんとお話しする機会も少なく寂しいですが、よく外で遊んだりお散歩したりしているので、見かけたら声をかけてください☆
これからも家族共々、よろしくお願ひします。



森田凪来(なぎ)

森田 翔樹 まいなさんの次女

人生の節目

「初老」

杉森 洋海

今年、初老を迎え改めて時間が経つのは早いと実感しています。そして、自分が初老だと、特に感じる事が二つあります。

一つ目は、仕事上の立場です。仕事につき始めのときは「若い者が何でもしなさい。」と言われ、多くのことを引き受けてきました。その経験と先輩たちからの教えで成長できました。それが、初老近くになると「ミドルリーダー」と言われ、職場全体のことを把握したり、若手の指導をしたりと自分が先輩たちの立場になったのだと実感しました。

これから、自分が教えていたように若手に教えていくこと、それが自分の役目だと思っています。

二つ目は、体の衰えです。十年くらい前までは、全力で投げても肩に痛みを感じたり、全力で走っても足が痛くなることはありませんでした。けれども、ここ何年かは、全力で投げると肩に痛みを感じたり、全力で走ると足が軽い肉離れを起こしたりします。それだけ、自分の筋力も衰えてきたと感じています。三人の子供たちが、無事、成人してくれるまで自分は仕事を頑張らなければいけません。そのためには、体力づくりも大切だと思っています。

「初老です」

杉本 大介

小杉に生まれて40年、やっていくことは20歳から何も変わっていない。ただ、子供たちの成長を目の当たりにし、さすがに歳を実感してきました。

同級生の半分以上は小杉を離れてしまっており、先日神社で行われた初老の厄祓いでも会うことはありませんでした。SNSの発展とともに人付き合いが希薄になつていく中、40年住み続けている小杉でのみなさんとの関わりが人生の楽しみの一つとなつていきます。

まだ初老、されど初老。これからも人生を楽しんでいきたいと思えます。これからもよろしく！



小杉町人居者紹介

千代家



はじめまして。小長野町から引っ越してきました、千代(せんだい)と申します。三姉妹の娘(6歳、3歳、1歳)があり、自然豊かでゆったりと子育てが出来ると決めたことになりました。妻と共に、子育てに慌ただしい毎日を送っていますが、新居での生活もはや1年間がとうとしていきます。町内についてまだ分からない事もあり、ご迷惑をおかけするかと思いますが、地域行事に積極的に参加していきたいと思しますので、今後ともよろしくお願ひします。

正信偈 写経を寄贈しました

田上 幸枝

私の家族の父が、小杉町で書道教室を開いたのがこれ四十年前です。今は亡くなられた前の町会長の石田清一さんをはじめ、いろいろな方々の尽力のお陰でした。前の小杉公民館として小杉学習舎と、二十年ほど大人の方や子どもたちを教えていました。その父も亡くなり、父の遺品の中から一枚の楷書で書かれた額が出てきました。

「正信偈」です。楷書は字の基本、正信偈は歸命無量で始まるお経です。

父は晩年には字を一字一字丁寧に、きちんと書くことに打ち込みました。それがこの楷書の額だと私は思います。縁あって小杉町集会所に掛けていただき、亡き父も本当に喜んでいてと思います。そして私もです。今はこの額が大人の人たちそして子どもたちにも、楷書の美しさを感じ取って見ていただきたいと思えます。ありがとうございます。ご紹介します。



年寄りのひやみず

井川 英一

情けなや 置の縁に けつまずき
お金持ち なぜ振り込むの 若婆よ
よっこらせ どっこいしよう あわれなや
婆さんよ キャシユカード なぜ渡す
横文字に ついて行けない もどかしさ
おれおれの 話術にはまる おろか者
風呂裸 鏡に写る シワたるみ
まれに来る 固定電話 詐欺かもと
子犬連れ 年寄りめとに 吠えられる
あらむさや 今聞いたこと 早忘れ
詰め将棋 頭の中が パニックに
ひらめいた 一夜明けたら 皆忘れ
脳トレや 数独解きに 没頭し
はいはいと 二つ返事で 聞き忘れ
思考力 クロスワードに 解き進む
忘れたか ポケたらあかん 死ぬまでは
ご先祖の 命日毎に 経あげ
若い嫁 子供を連れて どここの女
お経を 唱えられても 意味しらず
ダイエット 太る肥えると つまみ食い
金したい 地獄極楽 閻魔様
やっという あれこれそれと 目が回る
お悔やみや 明日は我が身か なんまいだ
これまずい 素直に言えず 歩み寄り
妻に言う 追越禁止 墓場まで
お父さん 大きな顔して 空威張り
自家菜園 作る野菜は 虫の餌
年とれば 言われるままに 聞き流し
実の野菜 鳥に裾分け うまがるう
今日もまた 言われ喜び おだてられ
草憎し むしれど生える ド根性
休憩よ そつと差し出す 茶柱
鉄振れば 肩腰痛い 湯を愛でる
手取り合い 七転八起 夫婦路
自家菜園 採りたて食べる 匂の味や
お互いに 励ましながら 息永し
自家菜園 たらふく食べる 幸せや
ゆつくりと 下って過ぐす 爺と婆
自家菜園 育て楽しみ 生きがいに
ありがたや 今日も無事に 更けて行く

行事予定

義長

1月15日 9時

総会

1月22日 13時30分

編集後記

田上 隆幸

わいわい祭りが終わり、この官報を編集しております。外は自宅の庭木の落ち葉が風で舞っています。横では愛犬が気持ち良さそうに寝息を響かせています(笑)

相変わらずの「コナ禍」、夏の水害、そして頻発するロケット報道など予期出来ないことばかりですが、皆さまからの記事や写真を読ませていただくと、「前向き」なことばかりで楽しくなりました。制限のある中でしたが行われた駅伝では町内通過の走者への大きな声援や拍手、わいわい祭りで三線に合わせての歌声、踊り鑑賞では自然と全員がリズムにのって体を揺らしたり、ビンゴゲームでは「リーチ」「ビンゴ」の雄叫びなど明るい小杉町ならではのですね。

最後になりましたが公民館官報の発行にあたり、寄稿いただいた皆様、原稿依頼や写真撮影などご協力いただいた文化部会員の皆様ありがとうございました。